

～先生になった生徒たち～
生徒が教える地域公募型授業

「わくわく農林塾」

三重県立久居農林高等学校



1. 目的と経緯

平成22年度 コース改編

久居農林高校が変わります

農業教育と家庭科教育
の
拠点校としての
リーダーシップ!!

新コースの魅力を
どのように発信して
いくのか?

資格の取得

★将来のスペシャリストの育成★
危険物取扱者・フラワー装飾技能士
毒物劇物取扱者・生物分類技能検定
室内装飾技能士・造園技能士
専攻科保育士・ワーキング検定
小規模店舗・クレーム・小型建設機械
測量士・測量士補・ガス溶接
農作物管理士・色検定
農産物加工士・農産物検査

生活デザイン科 食生活コース

安全安心な家庭生活を送るための「食の
プランニング」と「栄養や調理」を学びます

衣生活コース
豊かな家庭生活を送るための「手芸や服飾文化」
と「ファッションコーディネート」を学びます

リビングコース

豊かな家庭生活を送るための「福祉性環境」
と「インテリア環境」を学びます

地域との連携・協働

★地域産業を担う人材の育成★
JA(農協)・農業高等学校
三重大学・四日市大学
三重短期大学・農業研究
産業研究所・林業研究所
保育園・幼稚園・小学校
中学校・特別支援学校
福祉施設・老人ホーム

課題に正面から向き合っていくと
改善のスタートアップ

1. 目的と経緯

情報の発信方法を考える

各コースの何を宣伝するのか？



特徴的な学習内容



どうやって伝える？

農林にはこういう強みがあるじゃないか！



農林にはこういう強みが
あるじゃないか！

幼小中との交流授業

これを磨いていこう！

2. 交流授業の考察

各コースが独自に開拓し
交流授業を進めてきた

強み

- ・ 自主的な取組
- ・ 自由な発想
- ・ 学習との関連性
- ・ 時期設定が容易

弱み

- ・ 目的の統一性
- ・ 職員の一体感
- ・ 教育課程位置づけ
- ・ 学習の評価

2. 交流授業の考察

幼小中との交流授業

強み

- ・ 地域貢献
- ・ 学習基地機能
- ・ 知名度UP
- ・ 報道へのアピール
- ・ コミュニケーション能力

弱み

- ・ 一般市民との交流
- ・ 一部の生徒
- ・ 単発の交流
- ・ 露出不足
- ・ 学習効果

- ・自主的な取組

- ・自由な発想

- ・学習との関連性

- ・時期設定が容易

- ・目的の統一性

- ・職員の一体感

- ・教員課程位置づけ

- ・学習の評価

強み弱みを
踏まえて

強み

弱み

- ・地域貢献

- ・学習基地機能

- ・知名度UP

- ・報道へのアピール

- ・コミュニケーション能力

- ・一般市民との交流

- ・部内の生徒

- ・単発の交流

- ・露出不足

- ・学習効果

3つの柱

◎めざせ地域の
学習ステーション

◎学校挙げての
「わくわく農林塾」

◎生徒の学びの深化

◎めざせ地域の 学習ステーション

交流範囲の拡大

幼稚園
小学校
中学校

+

学童保育所
特別支援学校
地域の子供、大人
企業・事業所

公募

◎学校挙げての 「わくわく農林塾」

全校体制の取り組み

H22
農業学科
6コース

+

H23
生活デザイン科
3コース

取材依頼等の組織化・効率化

各コースの取り組みの共有化

◎生徒の学びの深化

生徒の学習

コミュニケーション
能力の育成

+

学習成果の活用・深化
対応法、マナー等の指導
反省アンケート・感想文
シラバス・計画指導

成果

- 生徒の成長
- 職員の一体感
- 受講者 1000人以上
- 報道回数（2年間）
 - 新聞 70回以上
 - テレビ 10回以上

成果

- 希望者数 (定員 240)

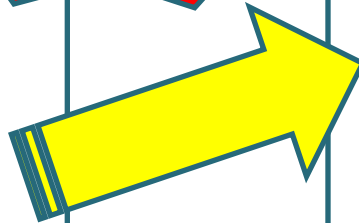
33%
増

H22 (12月)

236名

H23 (12月)

313名







この取り組みを通して得られた**生徒の成長**が我々教職員の**何よりの喜び**です。

そして、これからの**元気**の源として、もっともっと進化させていきます。

会場の皆様

ご清聴ありがとうございました

そ・し・て

生徒の皆様

ご成長ありがとうございました